

消防艇たちばな(1995年3月号掲載・藤間 芳生)

当日六甲アイランドなどの岸壁調査をしていたところ、消防車への中継送水のため長田港に出動せよとの命を受け、長田港に出動。途中苅藻島港(新湊川尻)に接岸せよとの変更があった。しかしドラム缶、流木が多く、水深は浅く岸壁の破損が大きいため接岸を中止し長田港に接岸した。

12時30分久保町二葉町6、7丁目にホースを延長、北6(ポンプ車)に中継を実施、そこから2線を延長し、西面久保町、二葉町の、7丁目境内で延焼阻止実現に向け放水を続行した。

15時～17時の間、三木、西脇、明石各消防車に中継送水、10時30分、日高消防車に中継送水を実施計5線放水となった。

10時40分、大阪市消防局「なみはや」到着。その後、大阪市「たかつ」堺高石消防本部「ぼうかい」と計7回人員物資搬送等で到着した。

大阪市及び堺市高石市の消防職員が「たちばな」からホースを延長。18日午前1時50分6線の中継送水となった。「たちばな」の隊員は、この間の消火活動は1時間交代で2班に分けて実施した。中継送水は車両規制が実施されていないため、数10本のホース破損、取り替え等神経を使った。消火活動においては、放水しても襲いかかる炎、我々は後退、転戦の連続、自然の偉大さをあらためて知らされた思いです。

しかし 18 日夜になってから一応の鎮圧状態となり、当初の目的である久保町、二葉町 6、7 丁目境界での延焼阻止に成功し、出勤以来はじめて、ほっとした感じでしたが、19 日 2 時頃ポートアイランド内、倉庫火災に転戦し、5 線の中継送水と消火活動を実施、延べ 54 時間の放水となりました。